

JA自己改革への取組み Vol.2

～地域のために 未来のために～

食

未来



農



暮らし



地域

組合員の皆さまへ

JA鹿児島いずみでは、食と農を基軸とし地域に根差した組合として
皆さまの「農業と暮らしの未来」を切り拓いていくため、

JAグループ鹿児島や全国JAの仲間とともに

自己改革に取り組んでいます。

今回、これまでの取組み状況をとりとめましたのでご覧ください。

今後も組合員・地域住民の皆さまの声を大切にしながら

役職員一丸となって改革に取り組んでまいります。

代表理事組合長 上 宗光



鹿児島いずみ農業協同組合

これまでの取組み状況

🌱 農業者の所得増大



優良牛の産地確立

平成 29 年 9 月に開催された全国和牛能力共進会において、鹿児島黒牛は日本一の称号に輝きました。

当 J A でも、県内外の枝肉共励会において個人優勝や団体優勝を数多く受賞し、「鹿児島いずみの和牛」の圧倒的な強さを発揮しています。さらに、独自ブランド「鹿児島いずみ華鶴和牛」の発展に向けた P R 活動にも積極的に取り組んでいます。

今後も、鹿児島黒牛の発展と 4 年後に鹿児島県で開催される全国和牛能力共進会に向けて、農家・J A ・関係機関一体となって優良牛の肥育に努めていきます。



営農指導の強化

農畜産物の品質向上や増収、農家の経営安定に向けて、営農指導員による農家巡回を強化しています。

また、実証圃場の設置や優良農家を事例とした研修会などの開催、農家カウンセリングなど、所得向上につながる取組みを展開しています。

平成 2 8 年 3 月からは各営農指導員にタブレット端末機を導入し、農家が必要としている情報を現地で素早く提供できる体制づくりに努めています。



資材価格の引下げ

資材価格の引下げに向けて、平成 30 年 4 月、J A 資材センター「いづる館」としてリニューアルオープンしました。

本所周辺の 4 事業所（米ノ津、高尾野、江内、野田）の購買店舗を本所資材センターに集約し、同時に配送システムを見直すことにより、生産資材にかかるコスト削減をはかり、生産資材や畜産飼料に対する特別支援対策の実施（価格の 1 ~ 2 %）や、資材センターでの自己引取りに対して 1 袋あたり 20 ~ 40 円の割引制度に取り組んでいます。



販売強化

平成 28 年度 4 月に設置した営業課を中心にカタログ販売やインターネット販売に取り組み、J A の豊富な農畜産物の販路を広げています。

一部品目については買取販売方式を導入しており、農家所得の増大や安定化につながる取組みをすすめています。

また、生産者と一体となって消費地宣伝会を実施するなど、全国に向けて J A 鹿児島いずみの高品質で豊富な農畜産物の知名度アップに取り組んでいます。

J A 鹿児島いずみ 自慢の加工品





農業生産の拡大



職業紹介事業の強化

農家の高齢化に伴う労働力不足への支援として、求人農家と求職者（作業員）を仲介し、農作業の斡旋を行っています。平成23年度に有料職業紹介事業の認可を受け、当初は長島地区のパレイショや甘しょ等の収穫作業などを中心に取り組んできました。現在では農家ニーズに合わせ、みかんやミニトマト収穫、さらにパレイショや甘しょの植付けなど作業範囲を拡大しています。また現在は、労働力確保に向けて外国人労働者の受け入れの準備を進めています。



園芸振興特別支援対策事業の実施

高齢化等により生産基盤の弱体化が進む中、生産の維持・拡大に向けて生産基盤の確立を目指し、JA独自の助成事業に取り組んでいます。

部会設置の園芸品目について、JAから購入した種子・種苗の購入額の一定割合を支援するものです。

JAは、第一線で活躍されている農家の方やこれから農業を始める方とともに、地域農業の維持発展に向けて取組みます。



繁殖母牛、畜舎への助成

繁殖農家の高齢化等により全国的に子牛不足が進む中、生産基盤の維持・強化をはかるため、JA独自の助成事業や様々な補助事業を活用して繁殖農家の経営をサポートしています。

特に増頭数に応じて助成金を交付する「中核的担い手育成増頭事業」では、224頭を対象に2,000万円超の助成金が交付され、繁殖雌牛は大きく増頭されました。



生産資材への助成（種子、苗木、ハウス施設等）

産地の維持拡大に向けて、苗木助成（大将季、紅甘夏、温州みかん）や種子助成（ソラマメ・実エンドウ）を行っています。特に果樹については、優良品種や改植を推奨し、JA独自の助成制度や補助事業等を活用しながら面積拡大に取り組んでいます。

また、農業経営の安定化や担い手農家の育成をはかるため、ハウス施設等に対しては降灰対策事業などの補助事業の活用をすすめています。

高齢者や女性農業者向けに軽量野菜（キヌサヤ、インゲン、オクラ、ゴーヤー）の周年栽培を目的とした3アールハウスに対し助成事業にも取り組んでいます。



女性農業者の活躍

JA運営に対し、女性農業者の力を発揮してもらうことや、女性ならではの意見を幅広く聞き取り、自己改革への取組みに活かすことを目的に「女性農業者の会」開催しました。

女性部各支部や各生産部会の女性部、さらに認定農業者などの代表者が参加し、JA女性理事をはじめとするJA役職員と意見交換をしました。

今後もJAは、女性目線の発想や企画取り入れた明るいJA運営を目指します。

地域の活性化



JA農業祭



にじいろキッズフェスティバル



全役職員1 地域活動

イベント・地域貢献活動

地域の皆さまとのふれあいを目的とした「JA農業祭」や地域の未来を担う子どもたちに向けて管内の協同組合と協力して行う食農教育イベント「にじいろキッズフェスティバル」など、JAオリジナルのイベントを開催しています。その他、地域の様々な活動や取組みにJAとして協力させていただいています。今後も皆さまとともに、明るく元気で人が集まる地域を目指します。

全役職員が、それぞれの地域活動に参加することで地域の活性化に取り組んでいます。

地域行事は幅広く、集落行事をはじめ季節ごとのイベントや清掃活動など多岐にわたります。さらに消防団等による地域の見守り活動等にも努め、地域の皆さまのよりよい暮らしにお役に立てるよう積極的な活動に努めています。

【主な活動】

- JA農業祭
- にじいろキッズフェスティバル
- JAゴルフ大会
- 長島町地域活性化連携協定の締結
- 県下一周駅伝チームへの農産物贈呈
- JA旗杯ソフトボール大会

自己改革プラン（第8次中期3カ年計画）

【基本目標】

JAグループの使命であり、かつ国民が強く期待している安心・安全な国産農畜産物の安定供給を将来にわたって実現するとともに、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に総力を挙げて取り組みます。

また、人口減少がすすむ地域社会において、農と地域の結び付きの再構築と、安心して生活することができる地域インフラ機能を提供し、「地域の活性化」に貢献します。

【重点取組み事項】

1. **農家所得・生産の拡大に向けた強い農業づくり**
増収対策や品質向上に向けた営農指導体制の強化
営業課の新設や買取販売方式の導入など販売体制の強化
購買店舗の見直しや仕入機能の強化による生産コストの削減
2. **組合員・地域との結び付き・きずなの強化**
組合員訪問活動など出向く体制づくりの強化
女性組織の活性化
3. **自己改革を支える経営基盤づくり**
信頼される経営基盤の構築
高度・専門的な知識を有する職員の育成



農業者の
所得増大

農業生産
の拡大

地域の
活性化

